

研究課題名	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を対象とした、小児におけるPCR検査法と血清抗体価の比較による疫学調査
研究の意義・目的	<p>新型コロナウイルス(COVID-19)を診断する方法は、現在PCRが主流です。しかし時間や費用、また検査できるキャパシティなどの問題に加えて、検体を取る方法やウイルスの量で、検査結果が左右されてしまう問題点があります。また小児では感染例や重症化例が成人に比べて少なく、その実態はほぼわかっていません。</p> <p>少量の血液でわかる抗体の測定は、PCRに比べて、簡単でどこでもでき、すぐに結果がわかる利点があります。症状がない「不顕性感染者」や「軽症患者」でも実施できるため、本当の感染者がどれくらいいるか把握できる可能性があります。また、抗体の量とウイルス量、患者さんの症状などを適切に関連付ければ、将来的に感染対策を行うための指標になるかもしれません。</p>
研究を行う期間	倫理審査委員会承認後～2024年3月31日（西暦）
研究協力をお願いしたい方（対象者）	倫理審査委員会承認前に大阪市立大学医学部附属病院や下記協力研究機関の小児科を受診され、診療上血液検査及び新型コロナウイルスのPCR検査を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。</p> <p>試料：血液検査後に生じた余りの血液検体</p> <p>診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、発熱日、入院日、既往歴、各種検査データ、レントゲン・CT画像、微生物検査結果</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院小児科・新生児科にて実施し、他機関へは試料・情報は提供しません。
この研究を行っている協力研究機関	協力研究機関として、本学を始め、大阪市立総合医療センター、和泉市立総合医療センター、淀川キリスト教病院、PL病院、柏原市民病院、十三市民病院が参加予定です。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 研究責任者 濱崎考史
本研究の利益相反	今回の研究は大阪市立大学大学院医学系研究科発達小児医学教室研究費を用いて行います。利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は、Mokobio Biotechnology社より研究資材の提供を受け実施しています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学</p> <p>（担当者氏名）濱崎考史</p> <p>電話番号：(06) 6645—3816</p>